

定例研修会の見直しによる
ファシリティケアにおける
専門的な知識のさらなる向上



ファシリティケア TQM委員会
石井 達也



《問題点・背景》

◆職員間交流、スキルアップ・知識を高める、経費・費用を抑える、伝え方を学ぶことを目的に令和3年より月に1回音羽本社と丸太町支店のファシリティケア合同で定例研修会を行っているが、**業者によるプレゼンなどが多くマンネリ化となっていた。**

《目的》

◆定例研修会の目的を明確にし、ファシリティケアの業務
を行う専門職としての知識、スキルを向上させ
る研修内容とした年間計画を作成し、知識向上を図
る取り組みを行う事とした。



《方法》

◆勉強会スケジュール

日付	概要	内容
令和7年8月7日 (実施済)	空調・水 について	法令に準じた水の管理 水・空調設備における感染症
令和7年9月2日 (実施済)	電話設備 について	電話設備の種類 電話交換機について
令和7年10月7日 (予定)	ガス・エレベーター について	ガス供給施設 火災・地震時の動作について
令和7年11月	電気設備 について (予定)	高圧電気設備 発電機を有している施設
令和7年12月	テストの実施	8月～11月に掛けて実施した定例会議 内容のテスト

《定例研修会資料 1》

実施日：令和7年7月8日(火)実施

目的：法令に基づいた水質管理、水・空調における感染症の危険について

病院の空調及び水について

ファシリティケア 丸太町

水について

(1) 飲料水の管理

水道法第3条第9項に規定する給水装置以外の給水に関する設備を設けて、人の飲用、炊事用、浴用その他の生活用のために水を供給する場合(旅館における浴用を除く。)は、水道法第4条の水質基準に適合する水を供給しなければなりません。そして、下表の衛生上必要な措置が定められております。

措置内容	措置回数
ア 給水栓における水に含まれる遊離残留塩素の含有率を百万分の0.1(結合残留塩素の場合は、百万分の0.4)以上に保持すること。 ※ 供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合、病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合は、給水栓における水に含まれる遊離残留塩素の含有率を百万分の0.2(結合残留塩素の場合は、百万分の1.5)以上とすること。	検査: 7日以内ごとに1回
イ 記録の点検など、有害物、汚水等によって水が汚染されるのを防止するため必要な措置	清掃: 1年以内ごとに1回
ウ 飲料水の水質検査	定期 (2) 飲料水の水質検査について参照
エ 給水栓における水の色、濁り、臭い、味その他の状態により供給する水に異常を認めたときは、水質基準省令の表の上欄に掲げる事項のうち必要なものについて検査を行うこと。	その都度
オ 飲料水に健康被害のおそれがあることを知った時の給水停止及び関係者への周知	直ちに

※「需要者に水を供給するために水道事業者の施設した配水管から分岐して設けられた給水管及びこれに直結する給水用具」と定義されている。
要するに水管から一度も水を貯める設備がなく、直接蛇口に接続されている場合は必要なし。一般家庭や小規模な戸建ての医院、保育園など。

《定例研修会資料 2》

実施日：令和7年7月8日(火)実施

目的：法令に基づいた水質管理、水・空調における感染症の危険について

空調に関して

空気環境測定基準

浮遊粉じんの量	0.15 mg/m ³ 以下
一酸化炭素の含有率	100万分の 6 以下 (= 6 ppm 以下)
二酸化炭素の含有率	100万分の 1000 以下 (= 1000 ppm 以下)
温度	(1) 18°C以上 28°C以下 (2) 居室における温度を外気の温度より低くする場合は、その差を著しくしないこと。
相対湿度	40%以上 70%以下
気流	0.5 m/秒以下

事務室についての作業環境測定の実務

- 対象：中央管理方式の空気調和設備を設けている建物の室で、事務所の用に供されるもの
- 測定点：事務室の中央部の床面75-120cmの位置に1つ以上
- 測定時期：事務室の通常の使用時間中
(始業後から中間時、中間時から就業前の二時点など⇒平均値)
- 測定方法：検知管式又はこれと同等以上の性能を有する測定機器を用いて行う。



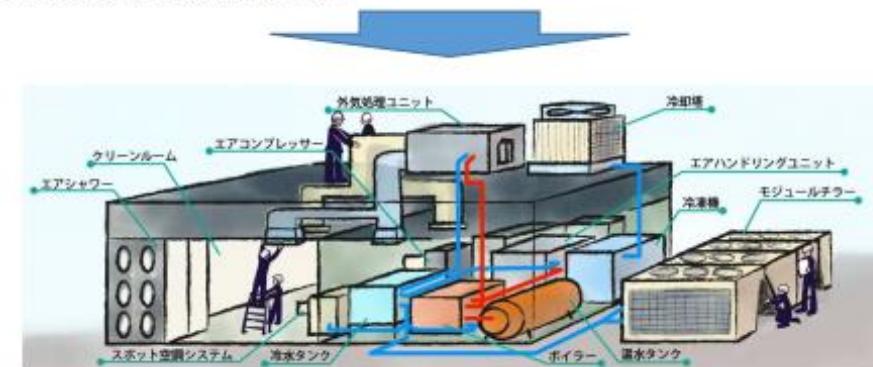
<測定上の注意事項>

- 測定に際しては、窒素ガス等によるゼロ点確認および標準ガスによるスパン調整を実施する。
- センサは時間経過とともに劣化するため、1年程度に1回の交換が必要となる。
- 共存ガスが存在すると測定値に影響るので、影響が無視できない場合には、検出器前部にスクラバ等を取り付けて除去する。

水・空調に関する感染症

レジオネラ症

もともと土壤や水環境に普通に存在する菌であるレジオネラ属菌が原因で発生する感染症※第4類感染症
エアロゾルを発生させる人工環境(噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等)や循環水を利用した風呂が屋内外に多くなっていることなどが感染する機会を増やしているものと考えられる。感染症法の施行以後、検査技術の進歩とあいまって、2013年には1,111例(暫定値)が報告された。病原体に曝露された誰しもが発症するわけではなく、細胞内寄生細菌であるため、細胞性免疫能の低下した場合に肺炎を発症しやすい。



《定例研修会資料 3》

実施日：令和7年8月5日(火)実施

目的：電話交換機・回線(通信インフラ)・端末・付帯設備について

電話設備について (基本編)

ファシリティケア 音羽本社 松浦 清二

電話設備

1. 電話機（端末）

- ・固定電話、IP電話、スマートフォンなど
- ・音声の送受信を行う基本的な機器

2. 電話交換機（PBX）

- ・社内の電話回線を管理・制御する装置
- ・外線と内線の接続、転送、保留などの機能を提供

3. 回線（通信インフラ）

- ・アナログ回線、デジタル回線（ISDN）、IP回線（VoIP）など
- ・通信事業者等が提供するネットワークを通じて音声を伝送

4. 電話配線・ジャック

- ・建物内の電話線や接続口
- ・電話機と交換機、回線を物理的に接続

5. 付帯設備

- ・留守番電話装置、通話録音装置、IVR（自動音声応答システム）、FAX、ヘッドセットなど
- ・業務効率化や記録保持のための補助機器



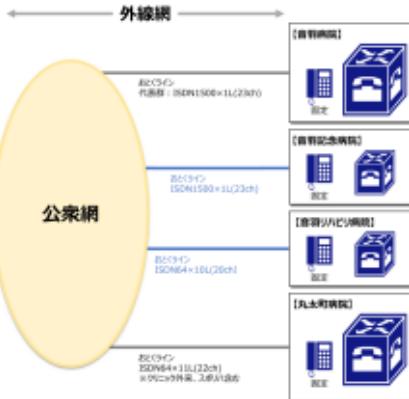
《定例研修会資料 4》

実施日：令和7年8月5日(火)実施

目的：電話交換機・回線(通信インフラ)・端末・付帯設備について

洛和会4病院（音羽HP・丸太町HP・音リハHP・記念HP）の回線構成

4病院の回線（外線）は、ソフトバンクのおとくライン（ISDN）を利用しています。



ISDN1500

- ・1回線契約で23chの利用が可能

ISDN64

- ・1回線契約で2chの利用が可能

ソフトバンクの
おとくラインを利用

基本的にISDN1500またはISDN64の2つの回線で構成されています。
部分的にアナログ回線が使用されていたりしますが、あくまで限定的です。

<部分的にアナログ回線を利用している理由>

- ・火災通報装置等の逆信にアナログ回線でしか対応が出来ない為。
- ・FAX専用の回線として、取り急ぎ引いた回線など。

外線

PBXが設置されている洛和会関連施設

洛和会の施設にも規模に応じてPBXが設置されています。

導入済み施設の一部

- ・音羽HP
- ・記念HP
- ・丸太町HP
- ・音リハHP
- ・東寺南HP
- ・V桃山
- ・V大山崎
- ・V天王山
- ・Vイリオス
- ・HL音羽
- ・HL山科東野
- ・HLみまさぎ
- ・HL室町六角
- ・HL御所北
- ・HL北野白梅町
- ・HL四宮
- ・矢野医院
- ・木村ビル
- ・ウエルネット
- ・本部医療情報部
- ・東桂坂保育園
- ・トランスポート
- ・ワイズファイナンス
- ・吉身保育園
- ・大津ビル
- ・MDC（ごとう歯科）

写真は記念HPの壁付け型PBX
(更新前の旧型)



洛和会設置のPBXはそのほとんどが
大和電設工業（NEC）が管理・設置を行っています。
※一部、日新ネットワークス（富士通）あり

《テストの試行》

確認テスト

1. 医療廃棄物の分類に含まれないものはどれですか？

1. a) 使用済み注射針
2. b) 血液が付着したガーゼ
3. c) 一般家庭の生ゴミ

2. 医療廃棄物の処理に関する法律はどれですか？

1. a) 廃棄物処理法
2. b) 労働基準法
3. c) 消費税法

3. 医療廃棄物の適切な処理が求められる理由は何ですか？

1. a) 環境保護のため
2. b) 感染症の拡大を防ぐため
3. c) すべての上記の理由

4. 医療廃棄物の中で特に感染リスクが高いものはどれですか？

1. a) 使用済みマスク
2. b) 使用済み注射針
3. c) 使用済み手袋

5. 医療廃棄物の処理方法として不適切なものはどれですか？

1. a) 専用の処理施設で焼却する
2. b) 一般ゴミと一緒に捨てる
3. c) 専用の容器に入れて保管する

確認テスト（回答と解説）

1. 医療廃棄物の分類に含まれないものはどれですか？

1. 正解: c) 一般家庭の生ゴミ

2. 医療廃棄物は病院や診療所から出る廃棄物であり、一般家庭の生ゴミは含まれません。

2. 医療廃棄物の処理に関する法律はどれですか？

1. 正解: a) 廃棄物処理法

2. 解説: 医療廃棄物の処理は「廃棄物処理法」に基づいて行われます。他の法律は医療廃棄物の処理には関係ありません。

3. 医療廃棄物の適切な処理が求められる理由は何ですか？

1. 正解: c) すべての上記の理由

2. 解説: 医療廃棄物の適切な処理は、環境保護や感染症の拡大防止など、複数の理由から重要です。

4. 医療廃棄物の中で特に感染リスクが高いものはどれですか？

1. 正解: b) 使用済み注射針

2. 解説: 使用済み注射針は血液や体液が付着している可能性が高く、感染リスクが非常に高いため、特に注意が必要です。

5. 医療廃棄物の処理方法として不適切なものはどれですか？

1. 正解: b) 一般ゴミと一緒に捨てる

2. 解説: 医療廃棄物は専用の処理施設で適切に処理する必要があり、一般ゴミと一緒に捨てることは不適切です。

■ 7月～11月にかけて行った講習内容でテストを実施。定量評価をとして活用。

《結果》

日付	参加人数 (全19人中)	出席率
令和7年8月7日	14人	74%
令和7年9月2日	13人	68%

参加者から質問を行い、講師が答えられない事に関しては調べ直しを行い議事録やTeamsを活用して回答。講師も知識向上の場となった。

令和7年9月12日

【第45回】FC 合同会議

- 日時：令和7年9月2日（火） 16時00分～17時00分
- 場所：音羽HPアイセンター2階セミナールーム・Teams会議（オンライン）
- テーマ：「電話設備について（基本編）」

- 司会：松浦主席係長 書記：梶
- 出席者：大原参事・菊池副部長・大門主席課長・四宮主席課長・小林主席課長
石井主席係長・奥田主席係長・亀井主席係長・田中副係長・三浦課員
岡崎課員

- 内容：「電話設備について（基本編）」
- 講義では、電話設備の種類や名称、携帯電話の歴史や当会の現設備状況の説明を受けた。
講義終了後、理解度を確認するための小テストが実施された。

普段、当たり前のように使用している電話設備の基本的な知識を再確認できた。
また、今後の当会の電話設備の展望を学べる良い機会であった。

- 次回
令和7年10月7日（火） 場所：未定 時間：16時～
司会：廣瀬副係長 書記：亀井主席係長

■予定表

	R7年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
司会	石井	奥田	大門	田中善	梶	松浦	廣瀬	田中樹	亀井
書記	大江	田中善	松浦	廣瀬	田中樹	梶	田中樹	亀井	高岡

	R8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
司会	高岡	小林	四宮	大江	石井	奥田	大門	松浦	田中善	梶
書記	小林	四宮	大江	石井	奥田	大門	松浦	田中善	梶	廣瀬

以上

《考察》

定例研修会

